

「人」への取り組み

日産は、クルマの安全性能向上や交通環境へのアプローチのみならず、クルマを運転をする「人」への安全に対する啓発活動や運転技術向上のための活動などにも取り組んでいます。

安全推進活動

日産は、日本において1972年から「ハローセーフティキャンペーン」という交通安全活動を実施しています。

交通安全絵本の幼稚園、保育園への贈呈や、交通安全啓発VTRの贈呈、上映会の実施など、幼児・児童向けの交通啓発に加えて、2003年度からは65歳以上の高齢者の交通安全対策にも取り組んでいます。

海外においては、北米日産自動車会社で、乗車時の子どもの安全確保について啓発する無料セミナー「クエスト・フォー・セーフティ」プログラムを1998年より継続しています。

これは、チャイルドシートなどの重要性を、保護者らに理解してもらうための草の根活動です。また「スナッグ・キッズ」というプログラムでは、数あるチャイルドシートを選ぶ際に役立つ情報を広く提供しています。

米国では、自動車事故が子どもの最大の死因であり、またチャイルドシートの8割近くは誤った使い方をされているという現実に対応し、この2つのプログラムを策定、継続しています。



交通安全絵本

啓発番組のプラネタリウム上映への協賛

インターネットによる交通安全教室

交通安全啓発番組

思いやり反射材ストラップの配布

啓発活動

- ・サイドドアピーム
- ・運転席SRSエアバッグシステム
- ・助手席SRSエアバッグシステム
- ・プリテンショナーシートベルト
- ・ステアリングコラムコラプス
- ・運転席SRSエアバッグシステム標準装備開始('95)
- ・SRSデュアルエアバッグシステム標準装備開始('95)

- ・第8回交通安全国民運動中央大会にて交通安全協力企業表彰を初受賞('68)
- ・第1回ハローセーフティキャンペーンの実施('72)
- ・「ハローセーフティキャンペーン」を強化・拡充し、年間活動化('90)
- ・安全運転講習会「日産ドライビングパーク」5都府県にて開催('91)
- ・シートベルト着用促進リーフレット「あなたが傷つくと、みんなが悲しい。」を全国各都道府県交通安全協会へ40万部寄贈('95)

- ・ロードリミッター付プリテンショナーシートベルト
- ・ブレーキアシスト
- ・VDC
- ・運転席・助手席SRSサイドエアバッグシステム
- ・チタンクリアドアミラー
- ・後席ELR付3点式シートベルト
- ・EBD
- ・アクティブヘッドレスト
- ・車間自動制御システム

- ・交通安全パンフレット「イチロ・ニッサン'96あんぜん読本」配布('96)
- ・安全運転講習会「日産ドライビングパーク」村山常設会場オープン('98)
- ・安全運転講習会「日産ドライビングパーク」でのチャイルドシート装着要領説明会の開催('99)
- ・チャイルドシート着用促進ビデオ「チャイルドシートに、のろう。」配布('00)
- ・北米で「クエスト・フォー・セーフティ」プログラムを開始('98)

- ・歩行者傷害軽減ボディ
- ・アクティブAFS
- ・インテリジェントブレーキアシスト
- ・前席緊急ブレーキ感応型プリクラッシュシートベルト
- ・コンパティビリティ対応ゾーンボディ
- ・インテリジェントクルーズコントロール(低速追従機能付)
- ・レーンデパーチャーワーニング(北米)

- ・第32回(秋)ハローセーフティキャンペーンにて、高齢者を対象とした交通安全活動に着手('03.9)
- ・第33回ハローセーフティキャンペーンにて、交通安全政策に連動し、地域に根ざした草の根活動に着手('04)
 - ・孫、高齢者両世代向け啓発絵本の制作と配布
 - ・第28回交通安全フェア(内閣府他主催)への啓発絵本と反射材ストラップの提供
- ・第45回交通安全国民運動中央大会にて交通安全協力企業表彰を37年ぶり2回目の受賞('05.1)
- ・第34回ハローセーフティキャンペーンの実施('05)
 - *事故死者数ワースト10(05年6月末時点)都道府県の公的プラネタリウムでの啓発番組上映：神奈川県、愛知県、東京都、埼玉県
- ・北米で「スナッグ・キッズ」プログラムを開始('02)